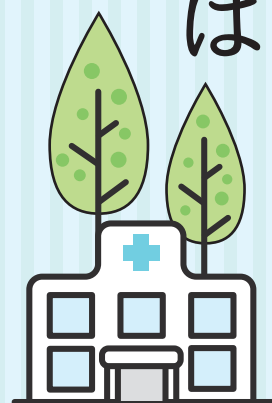


放置 厳禁

再検査・精密検査は 受けましたか？



治療の
中断理由と
その対策

あなたは、健診を受けたあと「要再検査」「要精密検査」などの結果を受け取って、放置していませんか？生活習慣病の多くは自覚症状に乏しく、気づいたときにはかなり進行していることが多いものです。面倒でも忙しくても、健診結果の指示に従って、必ず検査や治療を受けるようにしましょう。



「要再検査」 「要精密検査」

と言われた方へ

「要再検査」は、健診での数値が一時的なものかどうかを確認するための検査が必要ということです。一方、「要精密検査」は、なんらかの異常があるので、治療が必要な病気かどうかを確認するための詳しい検査が必要な状況です。どちらの場合も、検査の結果、何もなければひと安心ですし、問題があっても早めに治療が始められます。時間をつくって、なるべく早く受診しましょう。

「要治療」

と言われた方へ

「要治療」という結果を受け取ったら、ショックを受けてしまう人も多いでしょう。でも、ここで、きちんと医療機関を受診して治療に取り組み、重症化せずに済み、将来の医療費を抑え、健康寿命を延ばすことにもつながります。「治療」といっても必ずしも薬を飲むわけではありません。日頃の生活習慣の見直しだけで数値が改善することもあるので、あまり身構えずに医療機関を受診しましょう。



治療をやめてしまった人は 一刻も早く再開しよう

「忙しい」「薬を指示通り飲めない」など、何らかの理由で治療を中断してしまった人は、とても危険な状態です。例えば、高血圧や糖尿病の治療を中断して放置すれば、脳卒中や心筋梗塞、糖尿病性網膜症による失明などのリスクが跳ね上がります。治療の再開が早いほど、身体的・経済的負担も軽く済みますので、思い切って、もう一度通院を始めましょう。

忙しくて通院する時間がない

- 職場や自宅に近いなど、通いやすい病院へ行く
- 薬を長期間処方してもらい、通院回数を減らす

薬を指示通り飲めない

- 医師や薬剤師に相談して、飲みやすい薬への変更を検討してもらう

医師とうまくいかなかった

- 聞きたいことは事前にメモしておく

医療費の負担が大きい

- ジェネリック医薬品への切り替えを検討する
- 保険組合や自治体などの制度を利用できないか検討する